

# レバノン 人道危機救援金

レバノンでは、武装組織とイスラエルの衝突により国内情勢が刻々と変化しており、その影響は、イスラエルと国境を接する南部に留まらず首都ベイルートにまで及んでいます。現在の情勢は、2006年以降最大のエスカレーションとも言われ、レバノン保健省によれば、昨年10月以降2,000人以上の死者、1万人以上の負傷者が報告されています(10月9日時点)。また、120万人を超える人々が安全な場所を求めてレバノン国内やシリアなど周辺国への避難を余儀なくされています。近年、深刻な経済危機に見舞われているレバノンでは、食料や医薬品価格の高騰等、さらなる混乱が懸念されており多くの人々が支援を要しています。

日本赤十字社では、レバノン赤十字社、パレスチナ赤新月社レバノン支部、シリア赤新月社と国際赤十字・赤新月社連盟、国際赤十字委員会が実施する救援活動を支援するため、救援金を受付しています。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

**設置場所** ◎横瀬町社会福祉協議会（横瀬町総合福祉センター内）

**受付期間** 令和6年12月27日（金）まで

※延長される場合もあります。

お問い合わせ

☎0494-22-7380

日本赤十字社埼玉県支部横瀬町分区（横瀬町社会福祉協議会内）